

◆次回開催予定◆ 『第20回 記念大会 関西CT技術シンポジウム』

日時：平成21年8月29日(土)

場所：梅田スカイタワーウエスト36F Lルーム
 大阪市北区大淀中1-1-88 TEL:06-6440-5037

関西CT技術シンポジウム幹事一覧 (アイウエオ順)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 伊沢 一郎 | 兵庫県立姫路循環器病センター |
| 今井 方丈 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| 菊元 力也 | 洛和会 音羽病院 |
| 琴浦 規子 | 兵庫医科大学病院 |
| 佐藤 和彦 | 大阪大学医学部附属病院 |
| 辻 貴裕 | 天理よろづ相談所病院 |
| 中山 功 | 滋賀県立小児保健医療センター |
| 西村 正樹 | 武田病院グループ(本部) 医療技術部 |
| 枚田 敏幸 | 済生会滋賀県病院 |
| 松本 貴 | 医療法人・社団ハイメディッククリニックWEST |
| 水野 吉将 | 奈良県立医科大学附属病院 |
| 吉川 秀司 (代表幹事) | 大阪医科大学附属病院 |
| 渡辺 晋一 | 大阪市立大学医学部附属病院 |

第19回
 関西CT技術シンポジウム

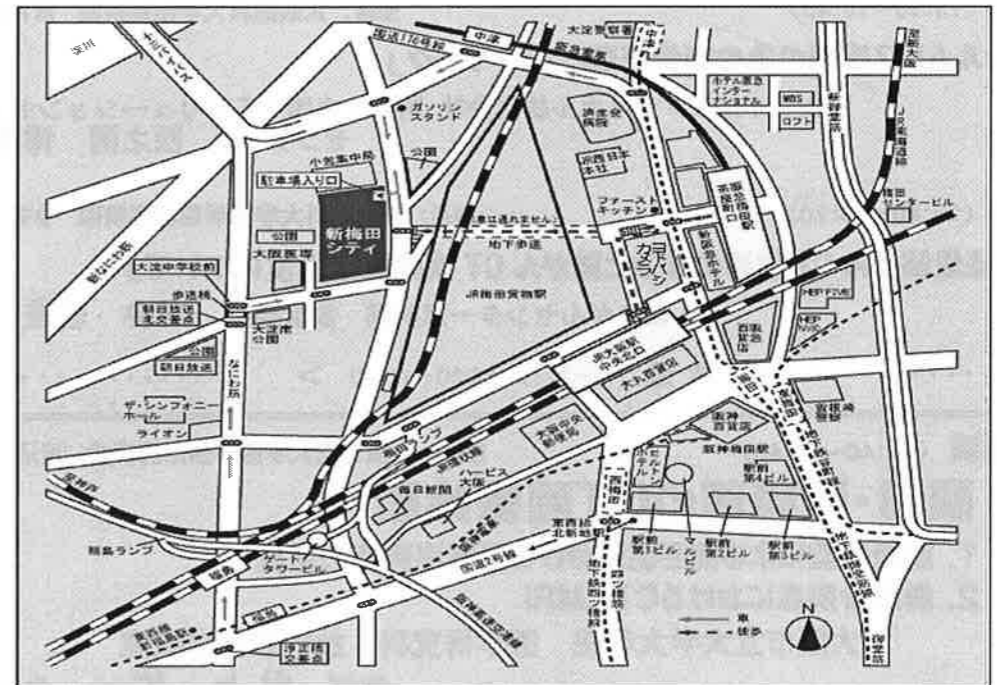
日時：平成21年3月21日(土) 13:40~18:00

場所：梅田スカイビルタワーウエスト36F Lルーム
 大阪市北区大淀中1-1-88 TEL:06-6440-5037

会費：1,000円(会場整理費)

【梅田スカイビル(新梅田シティ)】

JR大阪駅、阪急梅田駅、地下鉄御堂筋線 梅田駅より徒歩10分



lomeron

指定医薬品・処方せん医薬品
 注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤 【薬価基準収載】
イオメロン 300 350 400
 <イオメプロール注射液>
 300・350(造影・CT・造影用) / 400(造影・造影用)
 内容量：20mL, 50mL, 100mL

指定医薬品・処方せん医薬品
 注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤 【薬価基準収載】
イオメロン 300シリンジ 350シリンジ
 <イオメプロール注射液>
 300シリンジ(CT・造影用)内容量：50mL, 75mL, 100mL
 350シリンジ(CT・造影用)内容量：50mL, 75mL, 100mL, 135mL

ProHance

指定医薬品・処方せん医薬品
 注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性MRI用造影剤 【薬価基準収載】
プロハンス 注
 <ガドテリドール注射液>
 内容量：5mL, 10mL, 15mL, 20mL

指定医薬品・処方せん医薬品
 注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性MRI用造影剤 【薬価基準収載】
プロハンス シリンジ
 <ガドテリドール注射液>
 内容量：13mL, 17mL

●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

販売元
 ブラッコ・イーザイ株式会社 エーザイ株式会社 販売元
 〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-9 〒112-8088 東京都文京区小塚4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 ☎0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時) ZO0810-2 2008年11月作成

共催：関西CT技術シンポジウム
 エーザイ株式会社

第19回 関西CT技術シンポジウム プログラム

日時：平成21年3月21日(土) 13:40~18:00

場所：梅田スカイタワーウエスト36F Lルーム

大阪市北区大淀中1-1-88 TEL:06-6440-5037

会費：1,000円(会場整理費)

..... < 講演プログラム >

総司会：滋賀県立小児保健医療センター 中山 功

「製品紹介 イオメロン350/135mLについて」(13:40~14:00) エーザイ株式会社

開会の辞 代表幹事 大阪医科大学附属病院 吉川 秀司

第1部 (14:00~15:00) 座長：奈良県立医科大学附属病院 水野 吉将

講演1 「2管球搭載型CTの可能性」

奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部 山谷 裕哉 先生

講演2 「320列CTの使い方—いいところ、悪いところ—」

天理よろづ相談所病院 放射線部 辻 貴裕 先生

..... < 休憩 15:00~15:10 >

第2部 (15:10~15:40) 座長：大阪医科大学附属病院 吉川 秀司

「フィルムレス実現の為に画像管理とネットワーク」

富士フィルムメディカル株式会社 関西・中国ITソリューションセンター
センター長 西之園 博幸 氏

第3部 (15:40~16:20) 座長：滋賀医科大学医学部附属病院 今井 方丈

「低線量肺がん CT 検診の普及と肺がん CT 検診認定制度について」

国立がんセンター東病院 放射線部 花井 耕造 先生

..... < 休憩 コーヒーブレイク 16:20~16:40 >

特別講演 (16:40~17:40) 座長：大阪市立大学医学部附属病院 渡辺 晋一

「頭部・頭頸部のCT画像診断」

1. 動脈閉塞による脳梗塞における脳灌流画像の意義

2. 側頭骨疾患におけるCTとMRI

大阪市立大学大学院 医学研究科 放射線医学教室

教授 井上 佑一 先生

閉会の辞 医療法人・社団ハイメディッククリニックWEST 松本 貴

.....

<<講演内容のご紹介>>

【第1部】

【講演1】 演者：奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部 山谷 裕哉 先生
この10年の間に、CT装置はシングルスライスCTからマルチスライスCTへと急速に進化しボリュームデータとして扱う事が可能となった。それにより画像診断、患者様の負担軽減に大きな革命をもたらした。また最近では2管球を搭載し同時曝射が可能なCT装置が開発されボリュームデータに加えデュアルエネルギーにより得られる情報も取得することが可能となった。そこで今回メリット、デメリットを含め臨床応用について報告する。

【講演2】 演者：天理よろづ相談所病院 放射線部 辻 貴裕 先生
当院では2008年10月より320列CTを導入し臨床に使用している。今までのCT装置とは異なり心臓や頭部を1回転で撮影でき、被曝や造影剤使用量の低減が期待されている。ヘリカルスキャンを使用しないのでタイムラグやアーチファクトの少ない画像が得られる。
数ヶ月の使用経験からこの装置の特徴を活かした撮影法や部位について検討してみた。特に心臓や頭部でその威力を発揮し64列CTでは得られなかった画像情報が取得でき臨床から期待されている。今回この装置の使用経験から特徴についてお話ししたいと思います。

【第2部】

演者：富士フィルムメディカル(株) 関西・中国ITソリューションセンター
センター長 西之園 博幸氏
近年、各施設でフィルムレスを実現する為にPACSの導入が進んでいるが、一番大事なことは、使うに当たりストレスを感じない安定して稼働する商品選びが大事です。
フィルムレスを実現する為にPACS選びは今まで長い歳月を重ねて来たフィルム運用時代の撮影から現像までの作業環境を運用型ネットワークの環境に構築してゆく事と読影環境でのネットワーク構築を考え、その後の画像の管理方法を考える必要があります。

【第3部】

演者：国立がんセンター東病院 放射線部 花井 耕造 先生
現行の低線量肺がんCT検診を安全に精度良く、かつ実用的な検診手段として全国的に普及させるためには人材の確保が必須な条件となる。この課題に対し6学会が参加したCT検診合同認定検討委員会が組織され、肺がんCT検診認定医とCT検診認定技師の両者の検討が行われて来た。後者のCT検診認定技師に関しては本年1月31日、2月1日に駒澤大学(東京)において第1回講習会・認定試験が行われ、初めてのCT検診認定技師が誕生した。

【特別講演】

演者：大阪市立大学大学院 医学研究科放射線医学教室 教授 井上 佑一 先生
CTは放射線被曝という短所を有するが、患者に優しい検査で、多列検出器CTが開発されてからはより短時間に検査ができ、横断像のみから多方向の再構成画像が容易に得ることができ汎用されている。多列検出器CTの開発とソフトの開発により、脳灌流画像は比較的容易に得ることができる。
脳梗塞は脳血管障害の約70-80%を占める頻度の高い疾患で、超急性期に診断できれば血栓溶解治療法で、梗塞範囲を小さくできる可能性がある。血栓溶解治療法において脳灌流画像は大切な画像診断法になると考えられる。
側頭骨は軟部組織が少なく大部分が骨と空気から構成されている。空間分解能が優れるCTが多用される部位である。代表的疾患を供覧する。